

各国の臨床医学分野の論文数（2013～2015 年）



国名	論文数					
	整数カウント			分数カウント		
	論文数	シェア	順位*	論文数	シェア	順位*
米国	92,034	31.7	1 (1)	76,362	26.3	1 (1)
中国	31,039	10.7	2 (20)	27,541	9.5	2 (21)
英国	25,103	8.7	3 (2)	16,653	5.7	3 (2)
ドイツ	20,922	7.2	4 (3)	15,030	5.2	5 (3)
日本	17,522	6.0	5 (4)	15,668	5.4	4 (4)
イタリア	15,414	5.3	6 (7)	11,295	3.9	6 (6)
カナダ	14,563	5.0	7 (6)	9,810	3.4	8 (7)
オーストラリア	13,112	4.5	8 (10)	9,375	3.2	9 (10)
フランス	12,746	4.4	9 (5)	9,230	3.2	10 (5)
オランダ	11,063	3.8	10 (8)	7,233	2.5	12 (8)

国名	Top 10%補正論文数					
	整数カウント			分数カウント		
	論文数	シェア	順位*	論文数	シェア	順位*
米国	14,306	49.3	1 (1)	10,837	37.4	1 (1)
英国	4,526	15.6	2 (2)	2,273	7.8	2 (2)
ドイツ	3,289	11.3	3 (5)	1,602	5.5	4 (5)
中国	2,604	9.0	4 (19)	1,963	6.8	3 (19)
イタリア	2,589	8.9	5 (8)	1,283	4.4	5 (8)
カナダ	2,569	8.9	6 (3)	1,230	4.2	6 (4)
オランダ	2,254	7.8	7 (7)	1,069	3.7	7 (7)
フランス	2,214	7.6	8 (6)	1,044	3.6	8 (6)
オーストラリア	1,940	6.7	9 (10)	1,030	3.6	9 (10)
日本	1,451	5.0	10 (4)	1,010	3.5	10 (3)

* () は 1993～1995 年の順位

日本の科学論文数は全体に伸び悩みが認められるなか、臨床医学分野では論文数が増加している。ただし、注目度の高い論文 (Top10%補正論文数) は減少傾向にある。臨床医学分野に限らず、いずれの分野においても中国の台頭が目覚ましく、整数カウント法、分数カウント法どちらの分析法でも、この 10 年で 300%以上の伸び率を示している。

なお、整数カウント法は“関与度”を示し、複数国で 1 論文を共著した場合、単純に各国 1 本と計算する。分数カウント法は“貢献度”を示し、機関の数で除して計算する。たとえば日本 2 機関、米国 1 機関による共著であれば、日本は 2/3 件である。他国との共同研究次第で、分析法によって順位が入れ替わる可能性がある。

村上昭義，他「科学研究のベンチマーキング 2017」（文部科学省科学技術・学術政策研究所）を基に作成